



# 江東区 洪水 ハザードマップ

荒川の堤防が決壊したときの  
災害避難地図(想定し得る最大規模)

# 浸水の深さ

保存版

## 避難に関する情報

江東区は、荒川の水位、上流の雨、今後の台風の見通しについて検討し、警戒レベルに応じて取るべき行動を以下のとおり発令します。

### 緊急安全確保

災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

警戒レベル **5**

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

### 避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル **4**

### 高齢者等避難

避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル **3**

### 大雨・洪水・高潮注意報

避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル **2**

### 早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル **1**

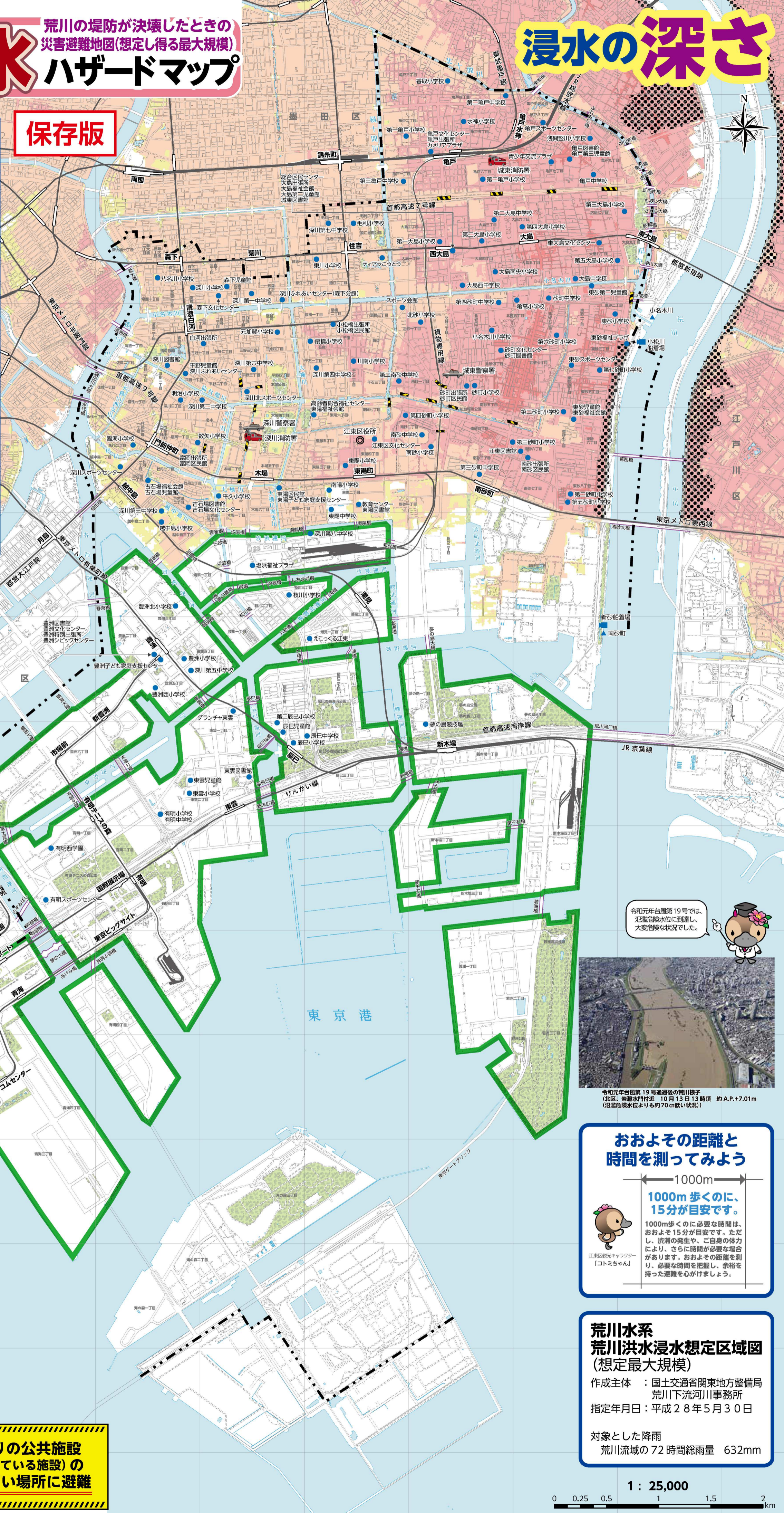
※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、この「相当」が付く情報は江東区が発信したのではなく、水位や警報の情報をもとに国・マスコミなどが発信しているものです。「警戒レベル〇相当」という表現があっても、区から必ず避難指示などを発表するわけではありません。雨や河川の情報を総合的に判断し、発信します。

※洪水は台風が過ぎ去った後に発生する場合がありますので、油断せず、避難情報をよく確認するようにしてください。

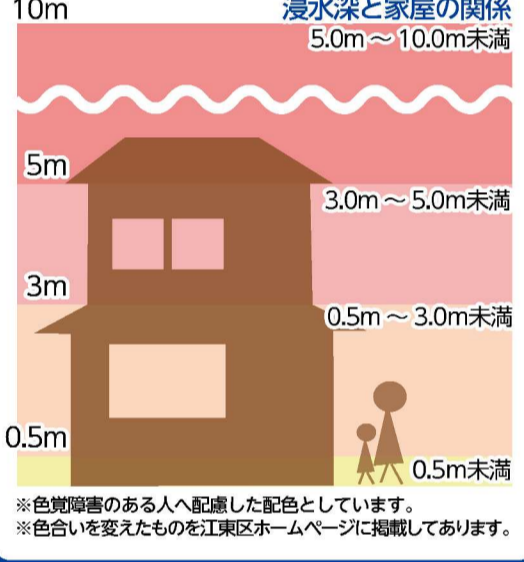
※詳細は、江東区洪水高潮ブックレットのP.11-12をご覧ください。



江東区の防災情報



## 浸水した場合に想定される水深

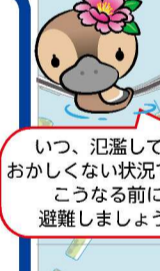


## 判断の目安

A.P.+7.70m 氾濫危険水位

A.P.+6.50m 避難判断水位

A.P.+4.10m 氾濫注意水位



いつ、氾濫してもおかしくない状況です! こうなる前に避難しましょう。

### 岩淵水門(上) 水位観測所

※岩淵水門(上)は、警報の基準となる水位を観測するための水位観測所です。江東区はこの岩淵水門(上)の水位に基づき協議し避難情報の発令を行っています。

令和元年台風第19号では、氾濫危険水位に到達し、大変危険な状況でした。



令和元年台風第19号通過後の荒川(北区、岩淵水門付近 10月13日13時頃 約A.P.+7.01m(氾濫危険水位よりも約70cm低い状況))

## およその距離と時間を測ってみよう

1000m 歩くのに、15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、およそ15分が目安です。ただし、波瀾の発生や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。およその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。



江東区観光キャラクター「コトミちゃん」

## 荒川水系 荒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

作成主体 : 国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所  
指定年月日: 平成28年5月30日

対象とした降雨 荒川流域の72時間総雨量 632mm

1:25,000



## 凡例(洪水)

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 避難先
- 主な公共施設
- 避難地区は
  - 地盤が高い
  - 浸水しない区域
  - 公園・広場がある
- 水害時、特に危険となる箇所
  - 家屋倒壊等氾濫想定区域
  - 流速が大きく、木造家屋が倒壊する恐れがある区域
  - アンダーパス
  - アンダーパスとは 周辺より低く水が溜まりやすいため注意が必要な箇所



川の防災情報

命を守る 緊急手段 垂直避難

ご自身の建物・最寄りの公共施設(マップに●マークがついている施設)の想定される水深より高い場所に避難



# 江東区洪水ハザードマップ

# 浸水の時間

保存版

## 洪水氾濫による浸水、排水の想定条件

- 荒川において、想定し得る最大規模の降雨により、水が河川の堤防を越えた場合や、堤防が壊れた場合を想定しています。
- 洪水氾濫で市街地などに溜まった水は、排水施設（排水機場・ポンプ所など）により河川・運河へ排水することを想定しています。
- 排水施設が浸水した場合や、備蓄している燃料が無くなった場合は、排水が出来なくなることを想定しています。

## 浸水継続時間の凡例

- 2週間以上の区域
  - 1週間～2週間未満の区域
  - 3日～1週間未満の区域
  - 1日～3日未満の区域
  - 12時間～1日未満の区域
  - 12時間未満の区域
- ※色覚障害のある人へ配慮した配色としています。  
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載しております。

## 凡例（洪水）

- カメラ設置箇所
- ▲ 水位観測所
- 避難先
- 主な公共施設
- 避難地区は
  - ・地盤が高い
  - ・浸水しない区域
  - ・公園・広場がある
- 水害時、特に危険となる箇所
  - 家屋倒壊等氾濫想定区域
  - 流速が大きく、木造家屋が倒壊する恐れがある区域
  - アンダーパス
- アンダーパスとは  
周辺より低く水が溜まりやすいため注意が必要な箇所

## 避難する時の留意点

**情報収集しましょう**  
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報に注意しましょう。

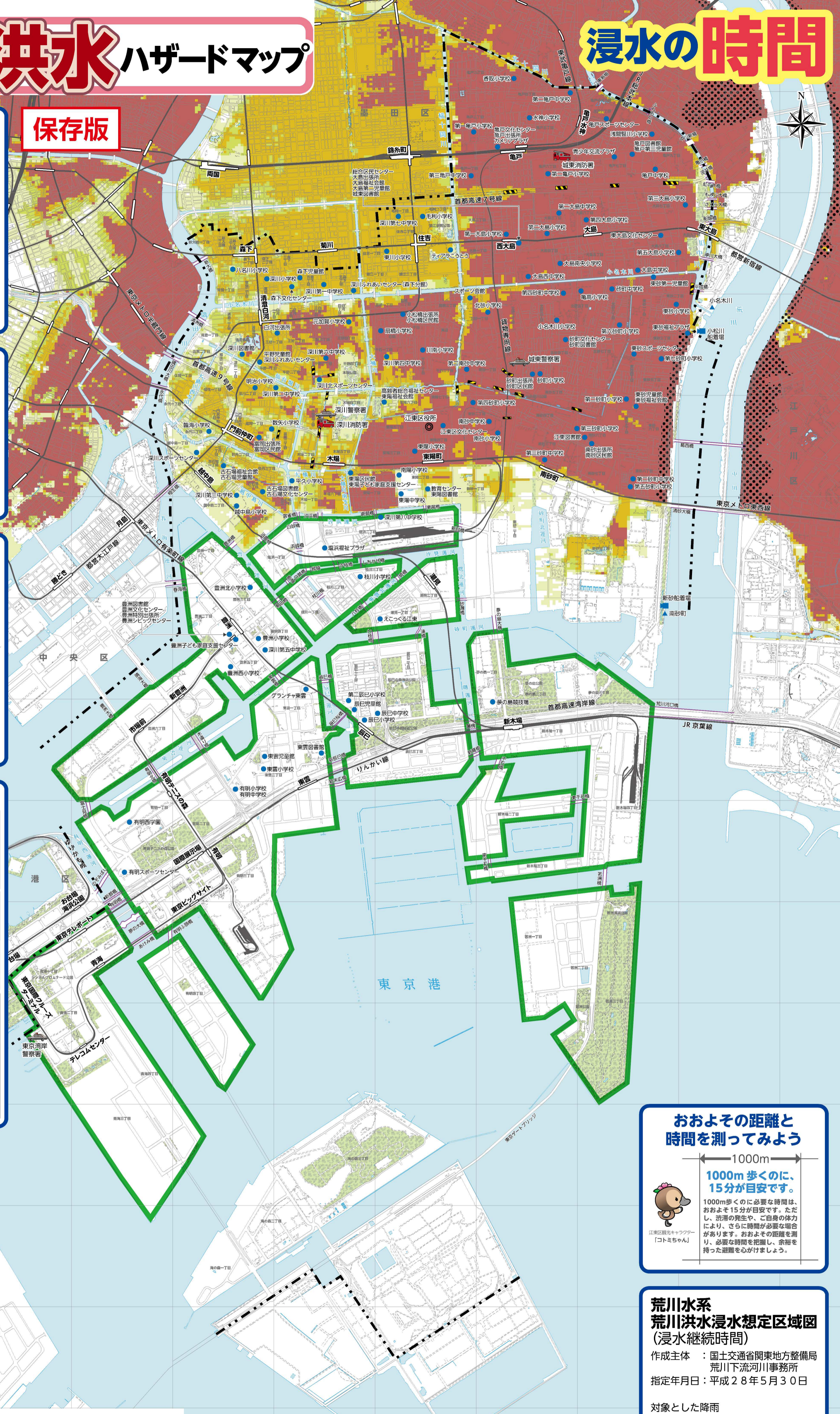
**避難の呼びかけに注意を**  
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報に注意しましょう。

**落ち着いて避難しよう**  
避難情報を確認したら、落ち着いて行動しましょう。

**動きやすい格好がお勧めです**

**足元に注意！**  
浸水しているため足下の危険が分かりにくくなっています。足下を確認しながら避難しましょう。

**万が一、逃げ遅れた場合には**  
ご自宅か、最寄りの公共施設において想定される水深より高い場所に避難しましょう。



### おおよその距離と時間を測ってみよう

1000m 歩くのに、15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、おおよそ15分が目安です。ただし、洗滞の発生や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。

江東区観光キャラクター「コトミちゃん」

### 荒川水系 荒川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

作成主体：国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所  
指定年月日：平成28年5月30日

対象とした降雨  
荒川流域の72時間総雨量 632mm

1 : 25,000  
0 0.25 0.5 1 1.5 2 km